

## 2019 北日本ストリートハンドボールフェス・ルール



### \*下線：ハンドボールと異なる部分

- ・ストリートハンドボールインターナショナルルールに準じますが、一部ローカルルールを適用します。
- ・ゲーム時間は、前半10分ー休憩5分ー後半10分で行います。
- ・ボールは、ストリートハンドボール用ボールを事務局で準備します。
- ・前後半のスタートは、センターからのスローオフ、得点後はキーパーのスローオフで再開します。
- ・スローオフ後には、味方全員でパスを回すことが必要です。  
→キーパーからのスローオフ後、キーパーはゴールエリアから出て、再度ボールに触れる必要があります。  
→全員がボールに触れた後にシュートすることができます。
- ・シュートする際、攻撃側のプレーヤーは全員、センターラインを越えていなければなりません。
- ・シュートした人は、得点が決まらなくても、キーパーとしてプレーを続けるか、控えメンバーと交代しなければなりません。交代した選手は、ゴールキーパーになります。
- ・交代メンバーは、あらかじめゴール近くのライン外に待機して、シュートしたプレーヤーがサイドラインからコートを出るのを確認してコートに入ります。
- ・キーパーは自由に交代できます。ただし、ゴールエリア内に2人入ることはできません。必ずキーパーがゴールエリア外に出てから交代してください。  
→キーパーがエリア内でボールを持っている場合
  - ① その場にボールを置いて交代するか、
  - ② ②味方にパスしてゴールエリアから出て交代する。
- ・守備側チームはスローオフ時、自コートのゴールエリア（4 葎）ラインを踏まなければなりません。
- ・スローオフは、センターラインを踏み、ホイッスルが鳴ったら味方にパスします。  
→この際、相手はパスカットが出来ます（空中と地面にあるボールは誰のものでもありません。）
- ・ドリブルは禁止。明らかにドリブルの場合は反則として相手ボールとなります。キャッチミスで落としたボールを拾っても、ドリブルにはなりません。
- ・故意の身体的な接触（タックルやつかむ）は禁止。接触プレーは相手チームのボールとなります。攻撃側についても同様（チャージングなど）。シュートブロックはOK。
- ・ゴールエリア近辺でのファールは、審判が判定した地点から相手側のフリースローで再開します。  
→防御側チームは、ボール保持者がスローするまで 2 葎以上離れること。
- ・明らかなシュートチャンスを妨害するファールの場合は、5 葎スローコンテストとする。
- ・ボールを持って移動できるのは、最大3歩まで。4歩以上はオーバーステップとし、相手側のフリースローで再開します。
- ・主審は1名とします。主審はゲームの流れをつくり、安全かつ公平にゲームを進めます。
- ・線審は2名とします。線審はフラッグを持って対角線上にゴール側へ1名ずつ立ち、ゴールラインを踏みこえたり、サイドラインやアウターゴールラインを越えてボールを保持したり、得点を判定して主審を補佐します。ファールの判断は、主審が行います。
- ・ゲームの流れを大切に、プレーヤーの達成感を保障してあげましょう。（例 ゴールエリアラインに触れてシュートしたプレーヤーを見逃す、また、オーバーステップなどを見逃すなど）
- ・ピルエット（回転）シュートやスカイシュート、バックシュートなどスペシャルなシュートによる得点は2点、また、男性チームの中に女性1名の場合のシュートも2点とします（一般のみ）。キーパーのゴール

### ル

エリアライン内からのダイレクトシュートも2点とします。

- ・基本的に、退場はありません。繰り返すファールや粗暴なファールにはイエローカードを上げます。

・楽しくゲームを行うことを大切にしましょう！  
・子どもや初心者には、ルールを説明しながら学習してもらうように指導しましょう！  
【禁止事項】・相手への誹謗中傷、挑発行為 ・応援のホイッスル使用

